

長谷川ともかず

市政レポート 2023年11月 vol.1

かわさきほっとらいん



所属委員会：文教委員会・大都市税財政制度調査特別委員会



川崎と共^{とも}に生きる



令和5年第4回川崎市議会定例会が9月4日から開催され、10月13日に閉会しました。今号では、令和4年度の決算を審査する決算審査特別委員会において、**文教分科会での私の質問の概要**を報告させていただきます。

- 9月13日:みらい川崎市議会議員団の代表質問
- 9月22日:文教分科会（市民文化局、こども未来局）
- 9月27日:文教分科会（教育委員会）

※分科会において、各委員（議員）に割り当てられた質疑応答の時間は各日20分になります。

？ 決算審査特別委員会とは？

会計年度が終了した後に、決算が議会で提出される9月定例会に設置される委員会で、その年度の予算の執行状況、事業の実施状況、及び行政効果などを審査します。

委員会は、一般会計や特別会計などの各種会計を分科会に分けて詳細に調査し、質疑を行った後、その結果を本議会で報告します。本議会では、その報告を受けて、決算を認定するかどうかを議決します。

「こどもサポート小田」に期待！（こども未来局）

不登校等の子どもたちが安心して過ごせる居場所として、平成22年4月から旭町こども文化センター内に開設している「こどもサポート旭町」に加えて、新たに令和4年6月から、小田こども文化センター内に「こどもサポート小田」が開設されました。

Q 本事業には、ニーズに合わせた有益な運用を期待しており、学校や家庭と連携を図り、一人ひとりに合ったきめ細やかな学習支援等のサポート強化が必要と考えています。「こどもサポート小田」が開設してからの利用状況や課題等について問う。

A 利用者は増加傾向にあり、不登校等の子どもたちの居場所としての役割を果たしているが、活動スペースの確保やスタッフなどの業務実施体制の充実等が課題。今後も「こどもサポート旭町・小田」が互いに連携を図りながら、より効果的な支援に取り組む。

保育園の 保育相談員の 定数確保を！ （こども未来局）

Q 保育園に通う障がい児や特別な支援を必要とする児童に関して、保育士等に専門的な見地から個別的な相談や助言等を行う保育相談員の配置人数が、定数を満たしていない状況となっている。相談員の欠員がもたらす影響と、他の支援策や代替えの取組について問う。

A 近年、保育従事者への相談・支援のニーズが高まっており、保育相談員の役割がますます重要になっている。相談員の欠員により十分な支援ができていないことは早急に解消すべき課題。今後は、募集要件の見直し等も検討しながら、相談員の確保に努める。

保育現場に更なる支援を！（こども未来局）

Q 保育園では、依然としてコロナ禍と何ら変わらない厳しい運営状況が続いています。保育現場の実態を把握し、国の補助や支援が手薄になった分については市が補うなど、更なる支援に向けた取組が必要と考えるが見解と対応を問う。

A 保育士等の負担が過度なものとならないようにしながら安定的な運営を行えるよう、必要に応じて公的な支援を行うことが重要。保育園の運営状況等の把握に努め、職員の負担を軽減するため、補助事業の情報提供や、運営への助言を行うなどの支援に取り組む。



学校ふるさと応援寄附金について(教育委員会)

Q 本制度は、「川崎市ふるさと納税」の選択メニューとして設置され、応援したい市立学校を指定し、個人や団体、企業等が、それぞれの想いや親しみをもって、ゆかりのある学校に寄附をしていただく制度です。市外から、及び団体・企業等からの寄附の件数や割合等について、これまでの実績を問う。

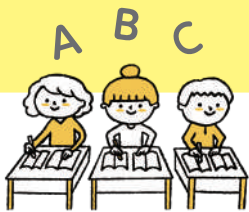
A 令和4年度の実績について、寄附金の総額は、延べ90校に対して約1,480万円。その内、市外の方からの寄附の件数と割合は、延べ6校で、6.7%。また、PTAを除く団体や企業等からの寄附の件数と受納額は、延べ6校に対して約123万円であり、ともに割合は少ない状況。

小中学校の英語教育の強化(教育委員会)

Q 小学校の学習指導要領が平成29年度に改訂され、令和2年度から全面実施となり、小学校3・4年生は「外国語活動」として、小学校5・6年生は「外国語」という教科として英語教育が始まりました。今後、小中学校での英語教育をより充実したものにしていくための取組を問う。

A 小中学校合同の担当者会を実施し、それぞれの校種の取組を共有し、小中学校の円滑な接続に向けて連携を深めており、このような取組を通して、英語によるコミュニケーションを積極的にとることのできる児童生徒の育成に努める。

※令和5年度全国学力・学習状況調査の結果、川崎市の中学3年生の英語の平均正答率(川崎市:53.0%、全国:45.6%)は、政令市で1位(さいたま市と同率)。



学校施設からPCBの早急な排除を!(教育委員会)

Q 人体に有害な高濃度PCB廃棄物の処理については、北海道室蘭市の処理施設と令和5年3月末までに契約し、計画的処理完了期限である令和6年3月末までに処分することになっている。未だに学校に保管されているPCB廃棄物について、処理完了に向けたスケジュール等を問う。

A 現在、小中学校7校において、高濃度PCB廃棄物を保管している状況。これらの内、6校は既に処理委託契約を締結し、令和6年3月末までに処分する予定。残りの1校については、これまでの調査が不十分であったことなどから、令和5年度に新たに発見されたものであるため、処理委託に係る手続きを行ったところであり、令和6年3月末の処分に向けて速やかに手続きを進める。



客引き行為等の対策について(市民文化局)

Q 川崎駅前の商店街に賑わいと活気が戻ってきたことは嬉しい限りであるが、同時に再び客引き行為等も多くみられるようになった。川崎駅東口周辺が重点区域となっている「川崎市客引き行為等の防止に関する条例」について、より実効性を高める取組と対応を問う。

A 警察や地元商店街等と連携を図りながら、指導員による効果的な巡回・立哨活動等を行うことで、市民が安心して公共の場所を通行し、利用することができる生活環境の確保に向けた取組を推進する。



プロフィール



- 1972(昭和47)年生まれ、51歳
- 川崎区大島上町在住
- 妻、長男、長女、次女の5人家族
- 日本大学工学部土木工学科卒業
- 民間企業で15年間、土木・造園工事の現場監督(サラリーマン)
- 川崎市役所で12年間、建設・道路行政に従事(行政マン)

- 2022年8月、川崎市役所を退職し政治家の道を志す
- 2023年4月、市議会議員選挙(川崎区)初当選

資格

- 田島小学校 元PTA会長(9年間)
- 渡田中学校 元PTA会長(3年間)
- 市立川崎高校 元PTA会長(3年間)
- 川崎市高等学校区PTA協議会 元会長
- 渡田子ども文化センター運営協議会 会長
- 川崎野球協会 副会長・大師支部 支部長
- 全川崎選抜野球大会実行委員会 委員長
- 1級土木施工管理技士
- 1級造園施工管理技士
- 測量士、ほか
- ロックンロール
- ゴルフ
- ガーデニング

趣味

長谷川ともかず事務所

〒210-0834 川崎市川崎区大島 1-23-4 サイトーハイツ 102
 TEL : 044-280-8824 FAX : 044-280-8834
 MAIL : hasegawa-tom@an.wakwak.com



X(旧Twitter)



Facebook



LINE

